



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 デサント

コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 悦朗

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役スタッフ部門長 (氏名) 石本 雅敏

TEL 06-6774-0362

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	16,466	12.4	△167	—	△80	—	14	—
23年3月期第1四半期	14,646	△4.0	△621	—	△585	—	△256	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 285百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △154百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	0.19	—
23年3月期第1四半期	△3.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	62,838	41,331	65.8
23年3月期	64,056	41,573	64.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 41,331百万円 23年3月期 41,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,000	0.7	1,200	△27.1	1,200	△31.4	700	△46.8	9.29
通期	81,000	7.0	4,000	7.1	4,000	1.7	2,500	△0.4	33.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	76,924,176 株	23年3月期	76,924,176 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,564,790 株	23年3月期	1,564,384 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	75,359,589 株	23年3月期1Q	75,385,991 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の海外経済は、中東情勢の悪化や欧州の債務危機および中国でのインフレ懸念などはあるものの緩やかな拡大基調が続きました。わが国経済は、東日本大震災による被害と電力供給悪化の影響を受けて急速に落ち込んだものの、サプライチェーンの復旧などにより持ち直しの動きがみられました。

当スポーツ業界におきましては、震災発生後は、スポーツ関連のイベント、大会の中止や延期が相次ぐとともに、一部地域では屋外活動を控える動きが広がったことなどにより個人消費は急速に落ち込みましたが、自粛ムードが次第に和らぐにつれて、個人消費も持ち直しの動きがみられました。

このような経営環境のなか、国内での販売につきましては、震災発生の影響により3月出荷予定が4月へずれ込んだこともあり、順調に推移しました。また、アジアでの販売につきましては好調に推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比12.4%増の16,466百万円となり、営業損失は167百万円、経常損失は80百万円、四半期純利益は14百万円となりました。

なお、4ページに記載の「会計方針の変更」とおり、在外子会社等の収益及び費用の円貨への換算方法の変更により、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度について四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の遡及適用を行っております。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

アスレチックウェアは堅調に推移し、ゴルフウェア、アウトドアウェアは好調に推移しました。結果、売上高は前年同四半期比7.1%増の11,304百万円、セグメント損失は250百万円となりました。

(アジア)

アスレチックウェア、アウトドアウェアは好調に推移しました。ゴルフウェアは堅調に推移しました。結果、売上高は前年同四半期比26.6%増の5,155百万円、セグメント利益は213百万円となりました。

(北米)

北米ではアウトドアウェアを中心とした事業を行っております。売上高は7百万円、セグメント損失は68百万円となりました。

取扱商品の品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

国内においては、「アンブロ」「ルコックスポルティフ」が好調に推移しましたが、「アリーナ」は減収となりました。アジアにおいては、「デサント」「ルコックスポルティフ」が好調に推移しました。結果、売上高は前年同四半期比14.2%増の9,877百万円となりました。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

国内においては、「マンシングウェア」「ルコックスポルティフ」「ランバン」が好調に推移しました。アジアにおいては、「マンシングウェア」「ルコックスポルティフ」が好調に推移しました。結果、売上高は前年同四半期比8.2%増の6,098百万円となりました。

(アウトドアウェア及びその関連商品)

国内においては、「マーモット」が好調に推移しました。アジア、北米においては、売上高は少額となっております。結果、売上高は前年同四半期比36.6%増の491百万円となりました。

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は62,838百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,218百万円減少しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ1,160百万円減少し、47,086百万円となりました。これは現金及び預金の減少1,427百万円、受取手形及び売掛金の減少1,914百万円、商品及び製品の増加1,919百万円が主なものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ58百万円減少し、15,751百万円となりました。

負債合計は、21,507百万円となり、前連結会計年度末に比べ975百万円減少しました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,029百万円減少し、17,594百万円となりました。これは未払法人税等の減少403百万円、賞与引当金の減少363百万円が主なものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ54百万円増加し、3,912百万円となりました。

純資産合計は41,331百万円となりました。株主資本合計は42,958百万円となりました。その他の包括利益累計額合計は△1,627百万円となりました。

以上より、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9%増の65.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く環境はさらに厳しい状況で推移するものと見込まれます。

このような状況のなかで、当社は引き続き企業体質の強化による収益力向上と企業価値の向上に努めてまいりたいと存じます。

連結業績予想につきましては、概ね当初予想の範囲内で推移しており、現時点においては、平成23年5月11日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

在外子会社等の収益及び費用は、従来、当該子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により換算する方法に変更しております。この変更は、収益及び費用の換算について、在外子会社の重要性が増加する中、近年の著しい為替相場の変動により期末時点で受ける一時的な為替相場変動の影響を緩和し、より実態に応じた企業状況を表示するために行ったものであります。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の売上高は147百万円減少し、営業損失は23百万円増加し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ1百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は176百万円増加しております。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,212	16,785
受取手形及び売掛金	15,745	13,830
商品及び製品	12,142	14,062
仕掛品	75	97
原材料及び貯蔵品	384	399
その他	1,726	1,955
貸倒引当金	△41	△45
流動資産合計	48,247	47,086
固定資産		
有形固定資産	9,249	9,218
無形固定資産	697	649
投資その他の資産		
その他	6,081	6,113
貸倒引当金	△219	△229
投資その他の資産合計	5,861	5,883
固定資産合計	15,809	15,751
資産合計	64,056	62,838
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,762	13,627
短期借入金	—	100
未払法人税等	731	328
賞与引当金	774	411
返品調整引当金	386	497
その他	2,969	2,630
流動負債合計	18,624	17,594
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
退職給付引当金	872	914
その他	1,486	1,498
固定負債合計	3,858	3,912
負債合計	22,483	21,507

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	15,099	14,585
自己株式	△657	△657
株主資本合計	43,472	42,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△369	△400
繰延ヘッジ損益	△2	0
為替換算調整勘定	△1,525	△1,228
その他の包括利益累計額合計	△1,898	△1,627
純資産合計	41,573	41,331
負債純資産合計	64,056	62,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	14,646	16,466
売上原価	7,658	8,519
売上総利益	6,987	7,947
返品調整引当金繰入額	89	110
差引売上総利益	6,898	7,836
販売費及び一般管理費	7,519	8,004
営業損失(△)	△621	△167
営業外収益		
受取利息	18	15
受取配当金	19	19
持分法による投資利益	21	23
受取補償金	44	—
その他	59	40
営業外収益合計	163	99
営業外費用		
支払利息	2	0
売上割引	3	3
固定資産除却損	6	5
その他	115	1
営業外費用合計	127	11
経常損失(△)	△585	△80
特別利益		
固定資産売却益	4	—
負ののれん発生益	165	—
特別利益合計	170	—
特別損失		
本社移転費用	152	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	65	—
特別損失合計	217	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△632	△80
法人税、住民税及び事業税	138	50
法人税等調整額	△519	△145
法人税等合計	△380	△94
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△252	14
少数株主利益	4	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△256	14

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△252	14
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△168	△30
繰延ヘッジ損益	32	3
為替換算調整勘定	230	290
持分法適用会社に対する持分相当額	2	7
その他の包括利益合計	97	270
四半期包括利益	△154	285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△159	285
少数株主に係る四半期包括利益	4	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,558	4,071	16	14,646	—	14,646
セグメント間の内部売上 高又は振替高	104	0	—	104	△104	—
計	10,663	4,072	16	14,751	△104	14,646
セグメント利益又は損失	△475	15	△77	△537	△83	△621

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△83百万円には、セグメント間取引消去5百万円、棚卸資産の調整額△88百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,304	5,155	7	16,466	—	16,466
セグメント間の内部売上 高又は振替高	95	12	—	108	△108	—
計	11,400	5,167	7	16,574	△108	16,466
セグメント利益又は損失	△250	213	△68	△105	△62	△167

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△62百万円には、セグメント間取引消去2百万円、棚卸資産の調整額△65百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

(単位：百万円、%)

区分	前第1四半期連結累計期間 平成23年3月期第1四半期		当第1四半期連結累計期間 平成24年3月期第1四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
アスレチックウェア 及びその関連商品	8,649	59.0	9,877	60.0	1,227	14.2
ゴルフウェア 及びその関連商品	5,637	38.5	6,098	37.0	460	8.2
アウトドアウェア 及びその関連商品	359	2.5	491	3.0	131	36.6
計	14,646	100.0	16,466	100.0	1,820	12.4

(2) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：百万円)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,312	16	50	4,378
II 連結売上高(百万円)				14,646
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	29.4	0.1	0.3	29.9

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・・ロシア、スイス、ノルウェー等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位：百万円)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	5,383	7	10	5,400
II 連結売上高(百万円)				16,466
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	32.7	0.0	0.1	32.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、台湾、中国等

②北米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・・スイス等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。